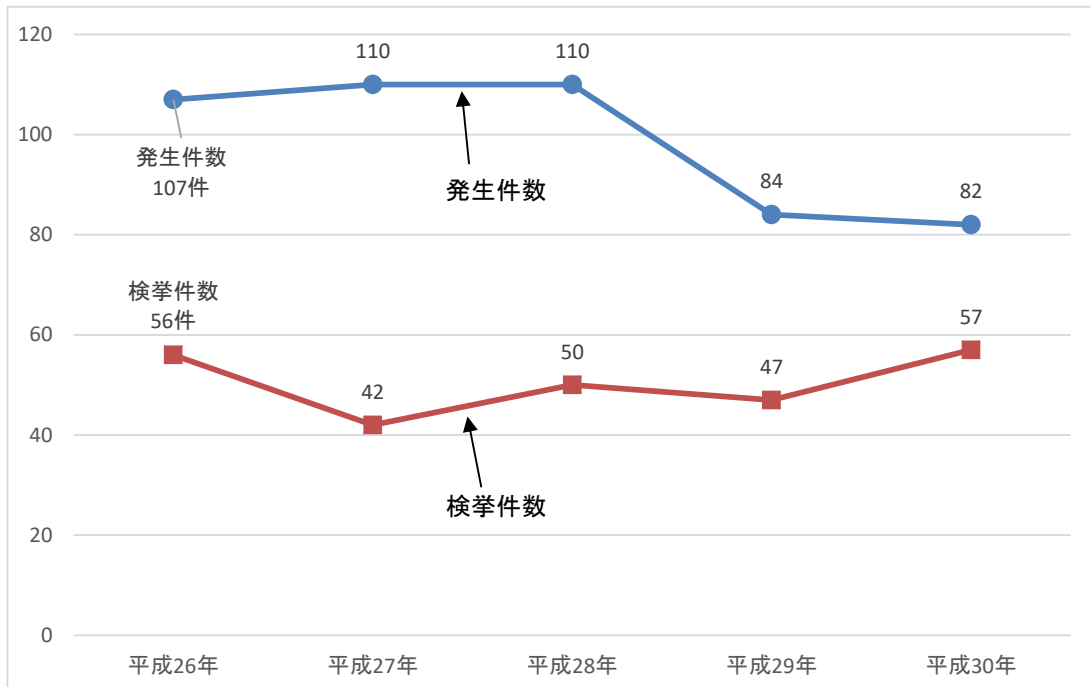


# 第 10 編 警 察 ・ 消 防

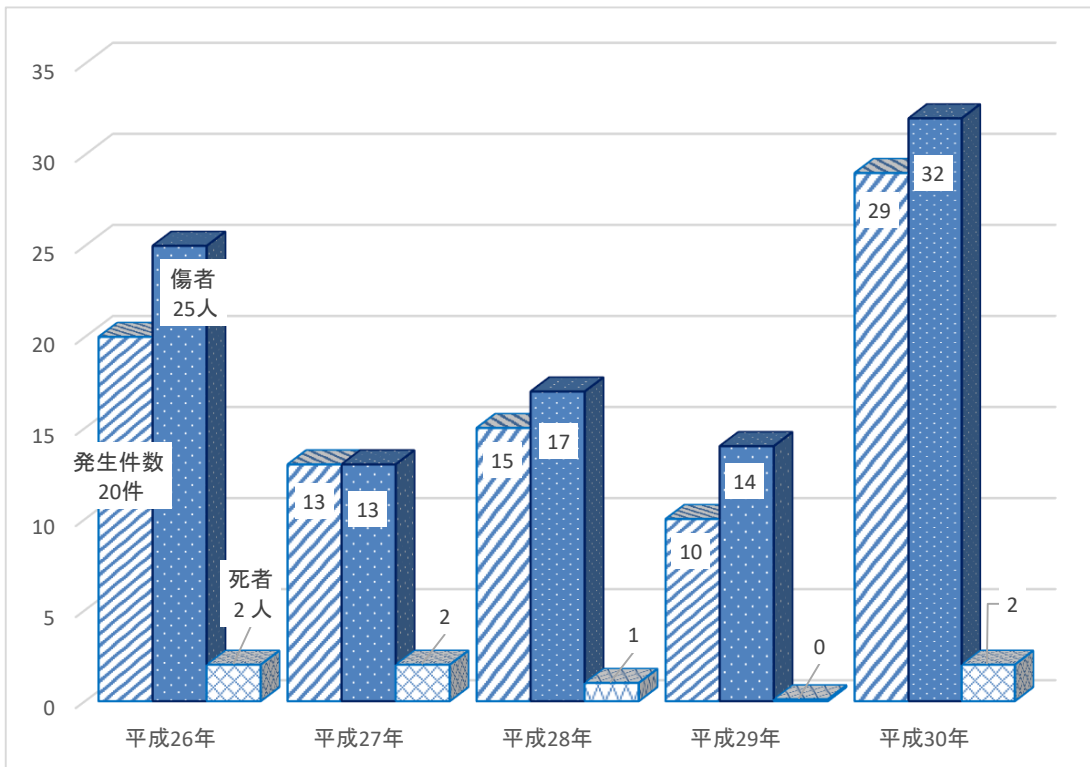
## ● 刑法犯発生検挙数

単位：件



## ● 交通事故発生件数

単位：件、人



# 1. 刑法犯発生検挙数

単位：件、%

区 分	平成 26 年			平成 27 年			平成 28 年			平成 29 年			平成 30 年		
	発生 件数	検 挙 件 数	検 挙 率	発生 件数	検 挙 件 数	検 挙 率	発生 件数	検 挙 件 数	検 挙 率	発生 件数	検 挙 件 数	検 挙 率	発生 件数	検 挙 件 数	検 挙 率
総 数	107	56	52.3	110	42	38.2	110	50	45.5	84	47	55.9	82	57	69.5
凶 悪 犯 総 数	—	—	—	—	—	—	3	2	66.7	—	1	—	1	1	100.0
殺 人	—	—	—	—	—	—	2	1	50.0	—	1	—	—	—	—
強 盗	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
強 姦	—	—	—	—	—	—	1	1	100.0	—	—	—	1	1	100.0
放 火	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
窃 盗	55	28	50.9	52	19	36.5	45	16	35.6	31	9	29.0	37	19	51.4
粗 暴 犯 総 数	18	15	83.3	13	14	107.7	26	24	92.3	28	25	89.3	17	17	100.0
暴 行	11	9	81.8	10	10	100.0	19	18	94.7	18	16	88.9	9	10	111.1
傷 害	4	4	100.0	2	2	100.0	5	4	80.0	7	6	85.7	7	6	85.7
脅 迫	3	2	66.7	—	1	—	2	2	100.0	3	3	100.0	1	1	100.0
恐 喝	—	—	—	1	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
知 能 犯 総 数	4	5	125.0	7	6	85.7	6	1	16.7	3	2	66.7	5	2	40.0
詐 欺	4	5	125.0	7	6	85.7	3	—	0.0	3	2	66.7	5	2	40.0
横 領	—	—	—	—	—	—	1	—	0.0	—	—	—	—	—	—
偽 造	—	—	—	—	—	—	1	1	100.0	—	—	—	—	—	—
風 俗 犯 総 数	—	2	—	2	1	50.0	1	1	100.0	2	2	100.0	1	1	100.0
賭 博	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
わいせつ行為	—	2	—	2	1	50.0	1	1	100.0	2	2	100.0	1	1	100.0
その他の刑法犯	30	6	20.0	36	2	5.6	29	6	20.7	20	8	40.0	21	17	81.0

資料 根室警察署

# 2. 非行少年罪種別検挙補導状況

単位：件

区 分	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
総 数	8	2	5	2	14
犯罪少年検挙数	8	2	—	2	10
特 別 法 犯	1	—	—	2	2
窃 盗	1	1	—	—	—
暴 行 ・ 障 害	—	—	—	—	4
そ の 他	6	1	—	—	4
触法少年補導数	—	—	5	—	4

資料 根室警察署

### 3. 交通事故発生件数

単位：件、人

区分	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
発生件数	20	13	15	10	29
死者	2	2	1	—	2
傷者	25	13	17	14	32

資料 根室警察署

### 4. 月別交通事故発生件数

単位：件、人

年次	区分	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成 26 年	発生件数	20	2	2	3	1	2	2	3	1	1	1	1	1
	死者	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	傷者	25	2	4	3	1	3	2	6	1	1	—	2	—
27	発生件数	13	1	1	—	—	—	2	1	3	—	3	2	—
	死者	2	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	—	—
	傷者	13	1	1	—	—	—	1	1	2	—	5	2	—
28	発生件数	15	1	1	1	—	1	2	—	3	1	1	2	2
	死者	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	傷者	17	—	1	1	—	2	3	—	3	1	2	2	2
29	発生件数	10	2	2	—	—	1	1	—	—	2	1	1	—
	死者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	傷者	14	4	3	—	—	2	1	—	—	2	1	1	—
30	発生件数	29	2	3	1	1	1	2	2	5	4	3	1	4
	死者	2	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	傷者	32	2	2	1	1	1	2	2	7	5	3	2	4

資料 根室警察署

5. 時間別交通事故発生件数

単位：件、人

時間 年次	発生件数		死者数	
	平成29年	平成30年	平成29年	平成30年
総数	10	29	—	2
0時～	2	—	—	—
2～	4	—	—	—
4～	6	—	—	—
6～	8	1	—	—
8～	10	—	3	—
10～	12	4	5	—
12～	14	—	4	1
14～	16	1	3	—
16～	18	2	8	1
18～	20	1	6	—
20～	22	1	—	—
22～	24	—	—	—

資料 根室警察署

6. 原因別交通事故発生件数

単位：件、人

時間 年次	発生件数		死者数	
	平成29年	平成30年	平成29年	平成30年
総数	10	29	—	2
ブレーキ・ハンドル不適	1	—	—	—
前方不注意	1	5	—	1
一時停止	1	2	—	—
後方不確認	—	—	—	—
飲酒	—	—	—	—
徐行不履行	—	—	—	—
動静不注視	—	—	—	—
安全不確認	5	19	—	1
高速走行	—	—	—	—
信号無視	—	3	—	—
居眠り	—	—	—	—
その他	2	—	—	—

資料 根室警察署

7. 年齢別交通事故発生件数

単位：件、人

時間 年次	発生件数		死者数	
	平成29年	平成30年	平成29年	平成30年
総数	10	29	—	2
20歳未満	—	2	—	—
20歳代	3	1	—	—
30歳代	2	3	—	—
40歳代	—	5	—	—
50歳代	1	5	—	1
60歳代	2	6	—	1
70歳代	1	5	—	—
80歳代	1	2	—	—
不明	—	—	—	—

資料 根室警察署

8. 事故類型別件数

単位：件、人

時間 年次	発生件数		死者数	
	平成29年	平成30年	平成29年	平成30年
総数	10	29	—	2
歩行者対車	3	11	—	1
自転車対車	1	—	—	—
車両単独	—	—	—	—
車両相互	6	18	—	1
正面衝突	1	1	—	1
追突	2	3	—	—
出合頭	3	10	—	—
その他	—	4	—	—

資料 根室警察署

9. 市民交通共済加入状況

単位：人

区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総数	14,715	14,123	13,945	13,590	13,083
一般	11,469	11,013	10,844	10,638	10,295
高校生	524	481	502	435	419
中学生	664	640	653	604	555
小学生	1,272	1,237	1,207	1,153	1,071
乳幼児	786	752	739	760	743
人口	28,045	27,554	27,290	26,712	26,156
加入者数	14,715	14,123	13,945	13,590	13,083
加入率(%)	52.5	51.3	51.1	50.9	50.0

資料 市民環境課

※「人口」は、外国人を除く。

## 10. 消防職員数

各年度4月1日現在 単位:人

年 度	総 数	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消 防 士
平成 26 年度	69	1	6	17(1)	23	3	20
27	69	1	6	16	23	3	20
28	69	1	9	14	23	3	19
29	69	1	9	16	23	3	17
30	70	1	9	16	23	3	18

資料 消防本部

※ 司令補の(1)は主査職再掲

## 11. 消防団員数

各年度4月1日現在 単位:人

年 度	総 数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
平成 26 年度	335	1	3	9	9	11	38	264
27	330	1	3	9	9	11	38	259
28	333	1	3	9	9	11	38	262
29	334	1	3	9	9	11	38	263
30	332	1	3	9	9	11	38	261

資料 消防本部

## 12. 火災発生件数

単位:件、千円

年 次	火 災 発 生 件 数									損 害 額
	総 数	建 物				建 物 以 外				
		全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	
平成 26 年	10	3	—	1	3	—	2	1	—	42,202
27	16	1	1	1	9	—	4	—	—	19,591
28	9	—	2	3	1	1	2	—	—	54,274
29	9	1	1	2	3	—	2	—	—	9,397
30	9	2	2	1	3	—	—	—	1	14,625

資料 消防本部

## 13. 原因別火災状況

単位:件

区 分	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
総 数	10	16	9	9	9
た ば こ	—	1	2	—	1
こ ん ろ	—	3	—	—	1
かまど・風呂かまど	—	—	—	—	—
炉 ・ 焼 却 炉	—	—	1	—	—
ス ト ー プ 等	—	3	1	2	3
煙突・煙道・排気管	1	—	1	—	1
電 気 機 器 ・ 装 置	3	1	1	—	—
電 灯 電 話 等 の 配 線	1	—	—	3	—
た き 火	—	—	—	—	—
溶 接 機 ・ 溶 断 機	—	—	—	1	—
灯 火	—	—	—	—	—
放 火 ・ 放 火 の 疑 い	—	—	—	—	—
そ の 他	2	7	3	3	3
不 明	3	1	—	—	—

資料 消防本部

14. 救急出動件数

単位：件

区分	総 数	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	不 搬 送
平成26年													
出場件数	1,169	10	—	1	39	26	3	134	—	6	751	199	
搬送件数	1,079	1	—	1	38	26	3	130	—	4	697	179	90
搬送人員	1,087	1	—	1	45	26	3	130	—	4	697	180	
平成27年													
出場件数	1,191	11	—	1	58	15	3	121	1	14	763	204	
搬送件数	1,073	—	—	—	48	14	3	114	1	9	712	172	118
搬送人員	1,086	—	—	—	58	15	3	114	1	9	713	173	
平成28年													
出場件数	1,159	7	—	1	52	21	3	117	6	7	768	177	
搬送件数	1,070	—	—	—	42	21	3	115	6	6	728	149	89
搬送人員	1,079	—	—	—	50	21	3	116	6	6	728	149	
平成29年													
出場件数	1,139	6	—	7	44	26	2	136	2	7	730	179	
搬送件数	1,044	1	—	5	40	26	2	128	1	3	680	158	95
搬送人員	1,051	1	—	5	47	26	2	128	1	3	680	158	
平成30年													
出場件数	1,144	8	—	1	52	12	2	141	2	8	731	187	
搬送件数	1,046	1	—	1	45	11	2	134	2	4	681	165	98
搬送人員	1,055	1	—	1	54	11	2	134	2	4	681	165	

資料 消防本部

## 15. 災害の発生と被害状況

年 月 日	種 別	被 害 状 況
天保 14 年 3 月 26 日 (1843)	地震・津波	6時ごろ、国後、根室、厚岸、釧路地方大地震の津波のため水死 46 名、家破壊 75 戸、船舶破損 61 隻。
明治 8 年 3 月 (1875)	流 氷	海浜流氷せきをなす厚さ 10～20m。昆布被害。
〃 27 年 3 月 22 日 (1894)	地 震	市街道路 60～90m さける。落石、納沙布 2 灯台ランプレンズ破損。
〃 41 年 12 月 15～16 日 (1908)	暴 風	漁船 34 隻転覆、行方不明 140 名。
大正 5 年 12 月 28～29 日 (1916)	暴 風 雪	船舶 24 隻、家屋全壊 3 戸、堤防、道路決壊。
〃 8 年 8 月 4 日 (1919)	大 雨	床上浸水 34 戸、床下浸水 78 戸。
〃 13 年 11 月 10 日 (1924)	暴 風 雨	漁船 12 隻転覆、流失 10 隻、死者 3 名、行方不明 1 名。
〃 14 年 1 月 12 日 (1925)	暴 風 雪	市街電灯、電話切断、落石無線空中線切断、釧根間不通。
〃 15 年 12 月 18 日 (1926)	暴 風 雪	凍死 2 名、家屋倒壊破損 16 戸、船舶、道路被害あり。 被害額 10 万円余。
昭和 2 年 10 月 10 日 (1927)	暴 風	建網流失、溺死 4 名。
〃 3 年 4 月 23 日 (1928)	暴 風 雪	なだれ多数、電信電話被害多し、発動機船 7 隻漁船 10 隻、行方不明 35 名。
〃 4 年 1 月 1 日 (1929)	暴 風 雪	死者 1 名、護岸、電信施設、船舶に被害損。
〃 8 年 3 月 28～29 日 (1933)	暴 風 雪	低気圧根室半島通過により死者 5 名、家畜 165 頭、家屋全半壊 20 戸、船破損 2 隻。
〃 12 年 7 月 11～13 日 (1937)	台 風	根釧地方死者 12 名、家屋全壊 3 戸、浸水 170 戸、漁船沈没座礁 12 隻、行方不明 5 名。
〃 16 年 9 月 5～ 7 日 (1941)	台 風	根室地方家屋全壊 5 棟、半壊 12 棟、床下浸水 28 棟。
〃 24 年 12 月 28 日 (1949)	暴 風 雪	根室付近をかすめて通過して発達した低気圧による。 倒壊家屋 3 戸、電話電灯断線多し、根室～釧路間 1 日運休。
〃 27 年 3 月 20 日 (1952)	大 雨	河川はんらん浸水家屋 100 余戸。19～20 日降水量 83.7 mm。
〃 29 年 5 月 10 日 (1954)	暴 風 雨	漁船乗組員 191 名遭難死亡、管内の被害 7 億円。
〃 32 年 8 月 5～ 7 日 (1957)	大 雨	根釧地方梅雨末期前線死傷 3 名、家屋全半壊 4 戸、浸水 1, 158 戸、畑冠水 1, 831ha。
〃 35 年 5 月 24 日 (1960)	津 波	チリ沖地震による津波襲来のため、死者 1 名、床上浸水 39 棟。 被害額 2, 330 万円。
〃 35 年 12 月 25～26 日 (1960)	暴 風 雪	根室沖を通過して発達した低気圧による陸上 22 %、海上 30 % のふぶき。 列車運休、電信・電話障害、学校休校、床上浸水 15 戸。
〃 40 年 1 月 8～ 9 日 (1965)	暴 風 雪	根室の南を通過した低気圧による陸上 20.2 %、海上 25 % の風による高潮。 全壊 7 戸、一部破損 19 戸、床上浸水 14 戸、床下浸水 22 戸、漁船被害 134 隻、水産施設木工被害多数。
〃 48 年 6 月 17 日 (1973)	地震・津波	根室半島沖地震。マグニチュード 7.4、震度 5、重傷 3 名、軽傷 19 名、住宅全壊 2 戸、一部破損 5,034 戸、津波による床上浸水 61 戸外、水産港湾、商工農業その他被害。 被害額 189, 700 万円。
〃 49 年 1 月 24～26 日 (1974)	風雪波浪	千島南東海上を北上した低気圧による風雪波浪。 市道根室～穂香線 120m 決壊、根室港湾施設破損 3 カ所。 被害額 4, 800 万円。
〃 49 年 2 月 9 日 (1974)	高 波	根室東海上を通過した低気圧による最大瞬間風速 27.4 % の風による高波 (6～7m の波)。花咲港港湾施設 6 カ所破損、花咲港流通センター施設破損。 被害額 7, 800 万円。
〃 49 年 10 月 20 日 (1974)	暴風波浪	最大瞬間風速 18.2 % による暴風波浪。海岸侵食港湾施設破損。 被害額 29, 700 万円。
〃 50 年 1 月 17～18 日 (1975)	暴風雪波浪	根室南東海上通過の低気圧による暴風雪波浪、漁船流失 1 隻、破損 63 隻、住宅破損 26 戸、水産施設、港湾施設破損。 被害額 5, 200 万円。
〃 51 年 4 月 7～ 8 日 (1976)	暴 風 雪	根室の東海上を通過した低気圧による暴風雪 (水分を多量に含んだ雪のため着雪)。 住宅一部破損 5 戸、漁船沈没 6 隻、破損 71 隻、水産関係資材流失、港湾関係破損 3 カ所。被害額 14, 400 万円。
〃 54 年 10 月 19 日 (1979)	暴風雨波浪 洪水	台風 20 号の通過により総降水量 144 mm を記録。水産被害・住家被害・農業被害を中心 に被害額 134, 100 万円。(岬町・西浜町・宝林町・月岡町住民に避難命令。)
〃 55 年 10 月 26 日 (1980)	暴風雨波浪	低気圧の通過により漁船破損 2 隻、サケ定置網 14 カ統破損。 被害額 10, 200 万円。

年 月 日	種 別	被 害 状 況
昭和 56年 1月 2～3日(1981)	暴風雪波浪	低気圧の通過により豊里で100mにわたって海岸侵食。 住家・非住家被害等被害額5,000万円。
" 56年 5月 25日 (1981)	大雨洪水	低気圧の通過により日降水量52mmを記録。浜松地区で崖崩れ2件発生。 被害額4,000万円。
" 56年 8月 5～6日(1981)	暴風雨波浪 洪水	台風12号の通過により長節及び婦羅理で海岸侵食。歯舞漁協・落石漁協で漁具被害 10件。被害額4,100万円。
" 56年 8月 23～24日(1981)	大雨洪水	台風15号の通過により根室港の船揚場張ブロック延長が90mにわたって散乱。 漁網1カ統及び営農被害など被害額2,500万円。
" 57年 6月 28日 (1982)	大雨洪水	台風5号の通過により漁網13カ統破損。被害額16,900万円。
" 57年 10月 20日 (1982)	大雨洪水	低気圧の通過により漁船の破損1隻、漁網5カ統破損。 被害額2,100万円。
" 57年 10月 25日 (1982)	波 浪	低気圧の通過により最大風速28.3%を記録。 住家の破損、水産被害など被害額13,100万円。
" 58年 3月 17～18日(1983)	暴風雪波浪 高 潮	低気圧の通過により最大瞬間風速37.2%を記録。国道44号線・道々根室半島線全線 通行不能。花咲港西防波堤破損や住家・営農被害など被害額18,500万円。
" 61年 9月 4日 (1986)	大雨洪水	台風15号から変わった低気圧の通過により日降水量148mmを記録。浜松地区に避難 命令。住家被害83棟、土木被害31件、水産被害15件など被害額17,200万円。
" 62年 9月 1日 (1987)	暴風波浪	台風12号から変わった低気圧の通過により最大瞬間風速32.7%を記録。住家の屋根 トタンの飛散101件。 被害額1,400万円。
" 63年 10月 30～31日(1988)	暴風波浪	低気圧の通過により最大瞬間風速37.6%を記録。 住家被害27棟、水産被害286件、土木被害10件。 被害額145,000万円。
" 63年 11月 24～25日(1988)	大雨洪水 暴風波浪	低気圧の通過により最大瞬間風速35.4%を記録。住家被害23棟、水産被害165件、 営農被害27件。 被害額53,700万円。
平成 元年 8月 16～17日(1989)	大雨洪水 暴風波浪 高 潮	納沙布岬を通過した台風14号により総降水量138.5mm、最大瞬間風速27.7%を記録。 住家被害61棟、漁具・漁網などの水産被害79件、道路の決壊8カ所。 被害額18,600万円。
" 2年 11月 4～5日(1990)	暴風波浪	低気圧の通過により最大瞬間風速30.8%を記録。住家一部破損12棟、営農施設25 件、漁具、漁網などの水産被害47件。 被害額67,500万円。
" 2年 11月 9～11日(1990)	暴風波浪 大雨洪水	低気圧の通過により最大瞬間風速33.5%、総降水量57.5%を記録。市街地の一部、 納沙布などで住家約1,000戸が停電となる。住家一部破損23棟、営農施設被害14件、 漁船破損などの水産被害19件など被害額7,500万円。
" 3年 2月 16～18日(1991)	暴 風 雪 大雪波浪	低気圧の通過により最大瞬間風速34.5%、総降雪量23cmを記録。幌茂尻などで一時 停電となる。住家一部破損16棟、営農施設被害8件漁船破損などの水産被害11件な ど被害額1,800万円。
" 3年 9月 27～28日(1991)	大雨洪水 暴風波浪 高 潮	台風19号の通過により最大瞬間風速30.1%、総降水量39mmを記録。厚床で塩害に より約1,600戸が17時間にわたり停電となる。住家一部破損16棟、水産施設の屋根 剥離、漁網流出などの水産被害10件など被害額16,800万円。
" 4年 9月 11～12日(1992)	大雨洪水 暴風波浪 高 潮	台風17号の通過により最大瞬間風速28.9%、総降水量259mm、日降水量211.5mで 観測開始以来第1位を記録。1時間における最大降水量29mmを記録。住家床上、床 下浸水109棟、水産施設被害28件。 被害額11,600万円。浜松地区住民に避難勧告。
" 5年 1月 15日 (1993)	地 震	釧路沖地震、マグニチュード7.5、震度4、軽傷11名、住家一部破損130棟、商工業 被害83件、水産被害11件、学校破損13校など被害額40,700万円。 厚床、歯舞で断水。歯舞、厚床の一部、敷島町の一部2,152戸が停電。
" 6年 10月 4日 (1994)	地震・津波	北海道東方沖地震、マグニチュード8.2、震度5。北海道の太平洋側に津波警報。 重傷8名、軽傷42名、住家全壊17棟、半壊271棟、一部破損1,533棟、床上浸水2 棟、漁船破損12隻などの水産被害、道路亀裂等58カ所などの土木被害、港湾1港区、 漁港10港の破損、商工業被害501件など被害総額1,786,500万円。沿岸住民に避難 勧告。火災1件発生(部分焼)別当賀、初田牛、西厚床の一部で停電。市内全域9,450 世帯で断水。JR花咲線根室～厚床間が11月2日まで不通。
" 7年 11月 8～9日(1995)	暴風波浪 高 潮	低気圧の通過により最大瞬間風速33.5%を記録。住家一部破損19棟、営農施設35 件、漁具・漁網などの水産被害66件など、被害額54,000万円。
" 9年 11月 17～18日(1997)	暴風波浪	低気圧の通過により最大瞬間風速31.8%を記録。住家一部破損1棟、学校破損2校、 教員住宅破損1棟、汚水処理施設破損1棟など、被害額600万円。
" 9年 11月 23日 (1997)	強風波浪	低気圧の通過により最大瞬間風速31.9%を記録。住家一部破損6棟、港湾1港区、 漁船水没2隻、漁船破損などの水産被害9件など被害額1,000万円。



年 月 日	種 別	被 害 状 況
平成 9 年 11 月 26～28 日 (1997)	暴風波浪	低気圧の通過により最大瞬間風速 33.0 % を記録。住家一部破損 2 棟、学校給食共同調理場 1 棟、漁船破損 3 隻など被害額 300 万円。落雷により花咲港地区の一部 48 戸が電話不通。
〃 10 年 8 月 30～31 日 (1998)	大雨洪水	低気圧の通過により総降水量 167 mm を記録。床下浸水 8 棟、崖崩れ 7 件、道路決壊 3 カ所、漁船破損 2 隻、漁場被害など被害額 1,300 万円。
〃 10 年 9 月 16～17 日 (1998)	大雨洪水 暴風	台風 5 号の通過により最大瞬間風速 30.0 %、総降水量 126 mm を記録。漁船破損 1 隻、漁網被害 4 件など被害額 12,700 万円。
〃 10 年 9 月 23 日 (1998)	大雨洪水	台風 7 号の通過により最大瞬間風速 25.0 %、総降水量 94 mm を記録。浜松地区で崖崩れ 1 件発生。被害額 200 万円。
〃 11 年 8 月 7 日 (1999)	雷 雨	未明から早朝までの落雷により、水道ポンプ場、T V 中継局、消防分遣所サイレン、埋立処理場、小中学校の各施設において電気系統の故障・断線などの被害発生。市内の住家 995 世帯が停電。被害総額 600 万円。
〃 11 年 12 月 7 日 (1999)	暴風波浪	低気圧の通過により最大瞬間風速 36.2 % を記録。住家被害 23 棟、漁船の座礁 1 隻、教育施設のガラス破損など総被害額 200 万円。
〃 12 年 1 月 28 日 (2000)	地 震	根室半島南東沖を震源とする震度 4、マグニチュード 7.0 の地震が発生。重・軽傷者各 1 名。
〃 13 年 9 月 11 日 (2001)	大雨洪水 波浪	台風 15 号の通過に伴い最大瞬間風速 32.8 %、総降雨量 169.5 mm を記録。漁船破損と漁網被害各 1 件、市道の法面崩壊による通行止めなど被害額 400 万円。
〃 14 年 1 月 27～28 日 (2002)	暴風雪大雪 波浪 高潮	低気圧の通過により、最大瞬間風速 36.0 % を記録。住家被害 3 件、公共施設被害 5 件、瑤瑤地区など 124 戸で停電発生。被害総額 100 万円。
〃 15 年 3 月 8～9 日 (2003)	暴風雪波浪	低気圧の通過により、最大瞬間風速 30.8 % を記録。商工業被害 1 件、国道 44 号線道道 7 箇所通行止めなど被害額 200 万円。
〃 15 年 6 月 21 日 (2003)	大雨洪水	低気圧の通過により、総降雨量 105 mm を記録。総合運動公園法面芝崩落、スワン 4 4 遊歩道の法面滑落など被害額 200 万円。
〃 15 年 9 月 26 日 (2003)	地震・津波	十勝沖地震、マグニチュード 8.0、震度 4、北海道太平洋沿岸東部に津波警報。軽傷 4 名、住家一部破損 18 棟、港湾被害 11 件、漁港被害 3 件、商工業被害 35 件、学校破損 15 件など被害総額 17,800 万円。J R 花咲線根室～厚床間が 29 日まで不通。落石・光洋町地区住民の 26 世帯 92 名が自主避難。
〃 16 年 1 月 13～16 日 (2004)	暴風雪 波浪	低気圧の通過により、最大瞬間風速 33.0 % を記録。床上浸水 1 件、床下浸水 1 件、住家一部破損 17 件、ウニ種苗センター玄関ガラス破損、船揚場斜路の破損 2 件など被害額 500 万円。
〃 16 年 2 月 23～24 日 (2004)	暴風雪 波浪	低気圧の通過により、最大瞬間風速 35.0 % を記録。軽傷者 1 名、住家一部破損 4 件牛舎屋根トタン剥離、街路灯倒壊など被害額 500 万円。
〃 16 年 9 月 7～8 日 (2004)	暴風波浪	台風 18 号の通過により、最大瞬間風速 39.3 % を記録。重傷者 1 名、軽傷者 3 名、住家一部破損 13 件、倉庫・店舗などの屋根トタン剥離など被害額 800 万円。
〃 16 年 11 月 29 日 (2004)	地震・津波	釧路沖地震、マグニチュード 7.1、震度 4。重傷者 3 名、軽傷者 1 名、港湾・漁港被害 2 件、水産共同利用施設被害 2 件、学校等施設 4 件など被害額 35,300 万円。J R 花咲線 70 分の遅れ。
〃 16 年 12 月 6 日 (2004)	地 震	釧路沖地震、マグニチュード 6.9、震度 4。軽傷者 1 名、物的被害 5 件。
〃 16 年 12 月 5～6 日 (2004)	暴風雪 波浪	低気圧の通過により、最大瞬間風速 32.7 % を記録。道道 7 路線通行止。住家、営農施設被害など 17 件。被害額 700 万円。
〃 17 年 5 月 19 日 (2005)	風 害	低気圧の通過により、最大瞬間風速 37.1 % を記録。住宅一部損壊 4 件など 19 件。被害額 1,200 万円。
〃 17 年 8 月 1 日 (2005)	土砂災害	低気圧の通過により、降水量 86 mm を記録。床下浸水 3 件、崖崩れ等 6 件（浜松 5 件、汐見町 1 件）の計 9 件。被害額 100 万円。
〃 17 年 9 月 7～8 日 (2005)	大雨・洪水 暴風・波浪	台風 14 号の通過により、降水量 41 mm、最大瞬間風速 30.7 % を記録。学校施設被害 1 件など計 3 件。被害額 100 万円。
〃 17 年 11 月 29 日 (2005)	暴風・波浪	低気圧の通過により、最大瞬間風速 31.7 % を記録。ごみ埋立処分場など物的被害が計 7 件。被害額 100 万円。
〃 17 年 12 月 26～27 日 (2005)	暴風・波浪	低気圧の通過により、最大瞬間風速 36.8 % を記録。住家被害 5 件など計 9 件、国道及び道道 8 路線が通行止め。
〃 18 年 10 月 6～9 日 (2006)	大雨・洪水 暴風・波浪 高 潮	急速に発達した低気圧の通過により、観測史上極値となる最大瞬間風速 42.2 % を記録。重傷者 2 名、軽傷者 5 名、住宅被害 242 件（床上浸水 13 件、床下浸水 12 件、一部損壊 217 件）、農業被害 134 件、水産被害 458 件、商工被害 100 件など 1,083 件。被害額 196,800 万円。温根沼などで 12 世帯 23 名が自主避難。市内の 5,470 戸で停電。
〃 18 年 11 月 15～16 日 (2006)	津 波	震源地：千島列島、マグニチュード 7.9、震度 1 北海道太平洋沿岸東部に津波警報津波到達時刻（花咲港）：15 日 21 時 29 分、40cm（最大波）。15 日 21 時 43 分市内全域に避難勧告。避難人数 約 900 人。被害なし。

年 月 日	種 別	被 害 状 況
平成 19 年 1 月 6～ 8 日 (2007)	暴 風 雪 波浪・高潮	低気圧の通過により、最大瞬間風速 35.2 ㎧を記録。 床下浸水 2 件、住家一部破損 4 件。市内の約 3,800 世帯で停電。
” 19 年 1 月 13 日 (2007)	地震・津波	震源地：千島列島東方（北大西洋）、マグニチュード 8.2、震度 3 北海道太平洋沿岸東部に津波警報。 津波到達時刻（花咲港）：13 日 14 時 39 分（第 1 波）、16 時 34 分 15cm（最大波） 13 日 13 時 36 分沿岸 31 地区に避難勧告（3,310 世帯、9,206 人対象）。 避難人数約 800 人。被害なし。
” 19 年 8 月 17 日 (2007)	津 波	震源地：南米東部ペルー沿岸、マグニチュード 7.9。 北海道太平洋沿岸東部に津波注意報。 津波到達時刻（花咲港）：17 日 7 時 53 分、10cm（最大波）、被害なし。
” 20 年 3 月 31 日 ～ 4 月 2 日 (2008)	暴 風 雪 波 浪	急速に発達した低気圧の通過により、最大瞬間風速 33.8 ㎧を記録。国道 44 号線（穂香～厚床）が通行止め。13 名が厚床会館へ一時避難。道道は根室半島線ほか 7 路線で通行止め。市内バス全線運休。納沙布方面を中心に 750 戸が停電。住宅被害 10 件、農業被害 27 件、水産被害 20 件、公共施設など計 74 件。被害額 2,800 万円。
” 21 年 2 月 20～21 日 (2009)	暴 風 雪 波 浪	低気圧の通過により、最大瞬間風速 31.8 ㎧を記録。市内 210 戸で停電。住宅被害 2 件、公共施設 2 件など計 5 件。被害額は 200 万円。
” 21 年 9 月 30 日 (2009)	津 波	震源地：南太平洋（サモワ諸島付近）、マグニチュード 8.3。 北海道太平洋沿岸東部に津波注意報。 津波第 1 波到達時刻（花咲港）：不明 最大波 10cm（30 日 午後 3 時 31 分） 被害なし。
” 21 年 10 月 8～ 9 日 (2009)	暴風・波浪 高 潮	台風 18 号の通過により、最大瞬間風速 35.4 ㎧を記録。降り始めからの総雨量は 105.5mm を記録。西浜町 7 丁目の市道西浜 1 号線、市道根室穂香線の 2 箇所で道路冠水のため通行止。市内 436 戸で停電。9 日は小中学校、高校は市内全校が臨時休校。住宅被害 26 件（床下浸水 1 件、一部損壊 25 件）、農業被害 16 件、水産被害 8 件など計 72 件。被害額 3,500 万円。
” 22 年 2 月 27 日 (2010)	津 波	震源地：チリ中部沿岸（2 月 27 日発生）、マグニチュード 8.5。 北海道太平洋沿岸東部に津波警報。 津波到達時刻（花咲港）：28 日 18 時 23 分、1m（最大波）。 28 日 9 時 40 分 沿岸 32 地区に避難指示（3,363 世帯、8,840 人対象）。 避難人数約 2,200 人。被害なし。
” 22 年 12 月 22 日 (2010)	暴風・波浪 高 潮	発達した低気圧の影響により、最大瞬間風速 29.6 ㎧を記録。水産被害を中心に被害額 300 万円。
” 23 年 3 月 11 日 (2011)	地震・津波	震源地：東北地方太平洋沖（3 月 11 日発生）、マグニチュード 9.0、震度 2 北海道太平洋沿岸東部に大津波警報。 津波到達時刻（花咲港）：11 日 15 時 43 分（第 1 波）、15 時 57 分 2.8m（最大波）。 11 日 15 時 30 分 沿岸 32 地区に避難指示（3,318 世帯、8,620 人対象）。 避難人数約 2,900 人。住宅被害 11 件（床上浸水 9 件、床下浸水 2 件）、土木被害 11 件、水産被害 95 件、商工業被害 26 件、その他被害 73 件など計 219 件。被害額 472,500 万円。
” 23 年 9 月 21 日 (2011)	暴風・波浪 大雨・高潮	台風 15 号の通過により、最大瞬間風速 35.6 ㎧、総雨量 89.5mm を記録。 西浜町 7 丁目の市道で道路冠水のため通行止。市内 1,021 戸で停電。小中学校、高校市内全校が臨時休校。JR、市内バス一時運休。 住宅被害 19 件、農業被害 16 件、水産被害 2 件、商工被害 10 件など計 75 件。 被害額 2,300 万円。
” 24 年 3 月 14 日 (2012)	地震・津波	震源地：三陸沖、マグニチュード 6.9、震度 3 北海道太平洋沿岸東部に津波注意報。 津波第 1 波到達時刻（花咲港）：18 時 55 分、微弱（最大波） 被害なし。
” 24 年 4 月 3 日 (2012)	暴風・波浪	低気圧の通過により、最大瞬間風速 30.5 ㎧を記録。 根室市歯舞 3 丁目の道道 35 号線で冠水のため通行止。雨による融雪により、床上浸水等 4 件が被害。公共施設が一部破損。道道等一部路線で決壊。 被害額 100 万円。
” 25 年 1 月 24 日 (2013)	地 震	震源地：根室半島南東沖、マグニチュード 5.2、震度 4、被害なし。
” 25 年 2 月 2 日 (2013)	地 震	震源地：十勝地方中部、マグニチュード 6.5、震度 5 強。重傷者 1 名、学校施設被害等 3 件。被害額 100 万円。
” 25 年 2 月 6 日 (2013)	津 波	震源地：サンタクルーズ諸島南太平洋、マグニチュード 8.0。 北海道太平洋沿岸東部に津波注意報。 津波到達時刻（花咲港）：20 時 22 分、0.1m（最大波）。 被害なし。
” 25 年 3 月 2～ 3 日 (2013)	暴 風 雪	急速に発達した低気圧の通過により、最大瞬間風速 34.4 ㎧を記録。 国道 44 号線（厚岸糸魚沢～穂香）、243 号線（別海鶴舞～厚床）が通行止。14 名が厚床会館へ一時避難。道道は根室半島線ほか 3 路線で通行止。歯舞方面を中心に、150 戸が停電。住宅被害 8 件、農業被害 9 件、水産被害 2 件、商工被害 2 件など計 33 件。被害額 1,000 万円。
” 25 年 4 月 7～ 8 日 (2013)	暴風・波浪	低気圧の通過により、最大瞬間風速 32.4 ㎧を記録。 軽傷者 1 名。住宅被害 12 件、農業被害 11 件、水産被害 1 件、商工被害 2 件など計 40 件。被害額 1,000 万円。

年 月 日	種 別	被 害 状 況
平成 25 年 4 月 19 日 (2013)	地 震	震源地：千島列島、マグニチュード 7.0、震度 4、被害なし。
” 25 年 7 月 16 日 (2013)	地 震	震源地：根室半島南東沖、マグニチュード 5.1、震度 4、被害なし。
” 25 年 9 月 16～17 日(2013)	大雨・暴風 波浪・高潮 洪水	台風 18 号の通過により、最大瞬間風速 32.4 ㎧、総雨量 88.5mm を記録。 住宅被害 6 件、農業被害 4 件、水産被害 11 件、商工被害 1 件など計 35 件。被害額 800 万円。
” 25 年 10 月 16～17 日(2013)	大雨・暴風 波浪・高潮	台風 26 号の通過により、最大瞬間風速 36.7 ㎧、総雨量 78.5mm を記録。 市道（東梅別当賀線）、道道 142 号線（根室浜中釧路線）、道道 953 号線（別当賀落陽線）の 3 箇所倒木のため通行止。道道 35 号線（根室半島線）の 1 箇所道路冠水のため通行止。市内の避難所 4 箇所を開設し、3 名が避難。市内約 800 戸で停電。16 日は小学校、中学校 4 校が臨時休校。中学校 3 校、高校は下校時間繰上げ。JR、市内バス運休。住宅被害 119 件（床下浸水 3 件、一部損壊 116 件）、農業被害 141 件、漁船、漁網被害など水産被害 34 件、商工被害 49 件、柏陵中学校屋根飛散など公立文教施設被害 26 件など計 505 件。被害額 22,600 万円。
” 25 年 11 月 10 日 (2013)	暴風・波浪	低気圧の通過により、最大瞬間風速 32.5 ㎧を記録。 JR が一時運休。住宅被害 14 件、農業被害 15 件、水産被害 3 件、商工被害 2 件など計 62 件。被害額 1,900 万円。
” 26 年 2 月 16～18 日(2014)	暴 風 雪 大雪・波浪	前線を伴った低気圧の通過により暴風雪となり、積雪は 2 月としては歴代三位となる 82cm を記録。道道は、根室半島線ほか 5 路線、市道は、牧の内 3 号線ほか 3 路線が 3 日間から 6 日間ほど通行止めとなった。小中学校・高校の全校が 2 日間臨時休校、西浜町の一部で停電が発生。バス、JR も 2 日間終日運休となった。
” 26 年 3 月 13～14 日(2014)	暴 風 雪	前線を伴った低気圧が急速に発達しながら通過し暴風雪となり、積雪量は 3 月としては 81 年ぶりの大雪となる 85cm を記録。国道 44 号、道道根室半島線ほか 3 路線、市道牧の内 3 号線ほか 4 路線が 1 日間から 2 日間の通行止めとなり、14 日はバス、JR が 1 日間終日運休、小中学校・高校の全校が臨時休校となった。牛舎 1 棟が全壊し、農業被害 1 件、被害額 3,500 万円。
” 26 年 3 月 21～22 日(2014)	暴 風 雪 高 潮	前線を伴った低気圧が急速に発達しながら通過し暴風雪となり、積雪量は観測開始以来最大となる 115cm を記録。国道 44 号、道道根室半島線ほか 8 路線、市道牧の内 3 号線ほか 6 路線が 1 日間から 4 日間の通行止めとなり、21 日午後から 22 日にかけてバス、JR が運休となった。厚床会館と根室西高等学校に避難所を開設し、計 9 名が避難。住家被害 1 件（一部損壊）、農業被害 4 件の計 5 件、被害額 100 万円。
” 26 年 4 月 2 日 (2014)	津 波	震源地：南米西部、マグニチュード 8.2。 北海道太平洋沿岸東部に津波注意報。 津波到達時刻（花咲港）：16 時 20 分、0.2m（最大波）。 被害なし。
” 26 年 6 月 26 日 (2014)	地 震	震源地：根室半島南東沖、マグニチュード 4.7、震度 4、被害なし。
” 26 年 12 月 16～18 日(2014)	暴 風 雪 大雪・波浪 高 潮	日本海中部と四国の南にあった前線を伴った低気圧が急速に発達しながら北東へ進み、17 日朝には北海道付近で一つにまとまりさらに発達し、18 日には非常に強い冬形の気圧配置となり、最大風速は納沙布で 30.7m、最大瞬間風速は弥栄町で 39.9m、17 日朝に低気圧が 951.6 ヘクトパスカルまで発達し、吹き寄せ効果や満潮時間とも重なって高潮となった。西浜町 7 丁目、緑町、梅ヶ枝町、弥生町など 8 地区 730 世帯 1,594 人に対し避難勧告を発令。高潮により住宅店舗等への床上浸水が多数発生した。6 カ所の避難所を約 3 日間開設し、計 69 名が避難。道路冠水や倒木により、国道 44 号線、道道根室浜中釧路線ほか 3 路線、市道ハツタリ橋付近ほか 1 路線が通行止め。歯舞地区や落石地区など計 12 地区で停電が発生。17 日から 18 日にかけては、航空機や JR はほぼ終日運休となり、高校は 17 日が臨時休校、小中学校は 2 日間臨時休校。住家被害 226 件（一部損壊 119 件、床上浸水 89 件、床下浸水 18 件）、農業被害 58 件、土木被害 5 件、水産被害 402 件、商工被害 189 件などの計 934 件、被害額 159,919 万円。
” 27 年 1 月 9 日 (2015)	地 震	震源地：根室地方中部、マグニチュード 5.4、震度 4、被害なし。
” 27 年 1 月 17～18 日(2015)	暴風雪大雪 波浪・高潮	急速に発達した低気圧の通過により、最大瞬間風速 32.5 ㎧を記録。被害件数は住家被害他 7 件。被害額 6 万円。
” 27 年 1 月 22～24 日(2015)	暴風雪大雪 波浪・高潮	急速に発達した低気圧の通過により、道道・市道が通行止めとなり、23 日の日降雪量は厚床で統計開始以来の極値となる 51cm を記録。被害件数は住家被害 3 件、被害額 3 万円。
” 27 年 1 月 31 日 (2015) ～ 2 月 2 日	暴風雪波浪	急速に発達した低気圧の通過により、最大瞬間風速 30.1 ㎧を記録。国道・道道・市道が通行止めとなり、公共交通機関は全て運休。厚床会館を帰宅困難者退避所として開設。西浜町 3 丁目他 629 件で停電が発生。被害なし。
” 27 年 2 月 14～15 日(2015)	暴風雪高潮	急速に発達した低気圧の通過により、最大瞬間風速 29.4 ㎧を記録。厚床では最深積雪 81cm を記録し、観測史上 1 位となった。国道・道道・市道が通行止めとなり、公共交通機関は全て運休。厚床会館を帰宅困難者退避所として開設。弁天町他 510 件で停電が発生。被害件数 3 件、被害額 8 万円。
” 27 年 2 月 27～28 日(2015)	暴風雪大雪 高 潮	急速に発達した低気圧の通過により、道道・市道が通行止めとなり、公共交通機関は全て運休。被害なし。
” 27 年 3 月 2 日 (2015)	暴風雪波浪	前線を伴った低気圧が急速に発達しながら通過したため、道道・市道で通行止めが発生。住家被害一部損壊 1 件。

年 月 日	種 別	被 害 状 況
平成 27 年 3 月 10～12 日 (2015)	暴風・波浪 高風・波潮	前線を伴った低気圧が急速に発達しながら通過したため、納沙布で最大風速 25.5% (1978 年の統計開始以来 3 月の第 1 位)、最大瞬間風速 35.3% を記録した。公共交通機関が運休し、西浜町 3 丁目他 602 件で停電が発生。被害件数住家被害 24 件、農業被害 6 件など計 55 件。被害額 980 万円。
" 27 年 8 月 10 日 (2015)	大雨・洪水 土砂災害	北海道付近に南から暖かく湿った空気が流入するとともに、上空には寒気が入り大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い局地的に猛烈な雨が降り、弥栄町で 1 時間降水量 53.5mm を記録 (観測史上 1 位)。土砂災害警戒情報が発表され、災害対策本部を設置し対応。避難準備情報を発令し、図書館、落石会館、歯舞会館を避難所として開設。弥生町、梅ヶ枝町、緑町などで浸水被害が発生し、床上浸水 33 件、床下浸水 26 件。被害合計 68 件、被害額 1,762 万円。
" 27 年 9 月 11～12 日 (2015)	波 浪	台風第 17 号の通過に伴う波浪により、定置網等が破損・流出し、水産被害 21 件、被害額 1,000 万円。
" 27 年 9 月 17～18 日 (2015)	津 波	震源地：チリ中部沖、マグニチュード 8.3。 北海道太平洋沿岸東部に津波注意報。 津波到達時刻 (花咲港)：17 日 15 時 48 分、20cm (最大波)、被害なし。
" 27 年 10 月 1～2 日 (2015)	大 雨 暴風・波浪	前線を伴い急速に発達した低気圧の通過により、最大瞬間風速 32.8% (南西) を記録。被害件数、人的被害 (軽傷) 2 名、住家被害 (一部破損) 5 件、農業被害 7 件、水産被害 3 件など計 25 件。被害額 5,652 万円。
" 27 年 10 月 7～9 日 (2015)	大雨・洪水 暴風・波浪 高 潮	超大型台風第 23 号及び台風から変わった温帯低気圧の影響により暴風雨となり、海は猛烈にしけ高潮となった。最大瞬間風速 38.0%、最高潮位は根室で 142cm、花咲で 105cm。災害対策本部を設置し、避難準備情報を発令し、避難所として図書館、歯舞会館、落石会館を開設。その後、オホーツク海側沿岸地域に避難勧告を発令し、避難所として総合文化会館、海星小中学校、厚床会館を開設。更にオホーツク海側沿岸地域 (低地) に避難指示を発令。また、浜松地区に高波による越波のため、避難勧告を発令。被害件数、住家被害 (一部損壊) 70 件、住家・事務所の床上浸水 32 件、床下浸水 16 件、漁船転覆や定置網破損などの水産被害 117 件など合計 307 件、被害額 15,241 万円。
" 27 年 11 月 28 日 (2015)	地 震	震源地：根室半島南東沖、マグニチュード 5.5、震度 4、被害なし。
" 28 年 1 月 18～20 日 (2016)	暴 風 雪 大雪・波浪 高 潮	急速に発達した低気圧の停滞により、最大瞬間風速 33.3%、根室港で最高潮位 1.2m を記録。災害対策本部を設置し、沿岸地区 4,069 世帯 9,700 人に避難準備情報を発令。避難所として図書館、歯舞会館、落石会館、厚床会館を開設。その後、避難勧告を発令。また、吹雪や冠水危険のため道道、市道に通行止めが発生。漁船破損など水産被害 2 件他計 7 件。被害額 63 万円。
" 28 年 8 月 16～18 日 (2016)	大雨・洪水 暴風・波浪	台風 7 号の通過により、納沙布では 1 時間降水量 42.5mm を記録し、統計開始以来第 1 位となった。被害件数、住家・非住家被害 (一部損壊・床下浸水) 3 件、土木被害 2 件、水産被害 12 件、商工被害 1 件、被害合計 18 件。被害額 1,175 万円。
" 28 年 8 月 20～24 日 (2016)	大雨・洪水 暴風・波浪	台風 11 号及び 9 号の通過や前線の影響により、大気が不安定な状態が続く大雨となり、最大瞬間風速 30.9% を記録。23 日は、市内小中学校が臨時休校 (小学校 4 校・中学校 3 校)。被害件数、住家被害 (一部損壊) 12 件、非住家被害 (一部損壊) 9 件、農業被害 4 件、水産被害 13 件、商工被害 2 件、その他 3 件、被害合計 43 件。被害額 7,637 万円。
" 28 年 9 月 6～11 日 (2016)	大 雨	台風 13 号から変わった温帯低気圧が、前線を伴いながら根室半島付近を通過し、日降水量 82.5mm、最大瞬間風速 31.7% を記録。被害件数は社会福祉施設被害他 1 件。
" 29 年 9 月 18～19 日 (2017)	大雨・暴風 波 浪	台風 18 号の通過により、根室で最大瞬間風速 34.0%、納沙布で 34.6% を記録。厚床では最大瞬間風速 29.4%、最大風速 18.5% を記録し、統計開始以来第 1 位となった。被害件数は、住家・非住家 (一部損壊) 20 件、農業被害 30 件、土木被害 2 件、水産被害 40 件、商工被害 8 件、その他 30 件。被害合計 130 件。被害額 6,325 万円。
" 29 年 10 月 23～24 日 (2017)	暴風・波浪 高 潮	台風 21 号の通過により、暴風・波浪警報の発表後、高潮警報が発表。被害件数、住家被害 (一部損壊) 11 件、農業被害 10 件。被害額 1,705 万円。
" 30 年 9 月 6～7 日 (2018)	地震・停電	震源地：胆振地方中東部 (9 月 6 日発生)、マグニチュード 6.7、震度 3 地震の影響により、北海道全域で停電が発生したことから、災害対策本部を設置し対応。公共交通機関は全て運休。市内小中学校も臨時休校 (小学校 8 校・中学校 7 校)。テレビ視聴・携帯電話等の充電コーナーを 5 箇所 (市役所、歯舞会館、落石会館、温根沼会館、厚床会館) に設置。被害件数、農業被害 (牛乳) 492 t、商工被害 51 件、被害額 8,926 万円。